

教育目標:元気な学校 明るい学校 たのしい学校

鳥川の合言葉:ありがとう やさしさいっぱい 心も笑顔

福島市立鳥川小学校

学校だより第12号

令和5年10月6日

校長 穂山 俊之



鳥川小だより

第42回福島市小学校 陸上競技大会

10月4日(水)、第42回福島市小学校体育大会陸上競技大会が、誠電社WINDYスタジアム(信夫ヶ丘陸上競技場)で開催され、本校の6年生選手22名が参加しました。

大会は、100m 走、80m ハードル走、持久走、走り高跳び、走り幅跳び、ソフトボール投げ、4×100mリレーの7種目で競われ、子どもたちは、「全・力・輝・楽」のスローガンのもと、応援の気持ちが詰まった「ミサンガ」を鞆に取り付け、それぞれの競技で自己ベストを目指して頑張りました。

ライトグリーンのユニフォームで、全力で競技する姿、とてもカッコ良かったです。

スポーツ、とりわけ陸上競技は、様々なことをわたしたちに教えてくれます。

- 自分の限界より、少し上の努力で「できなかったことができるようになる」喜び。
- 「継続」が何より大切であること。
- 「応援」が不可能を可能にしてくれること。
- 互いの健闘をたたえ合うことの清々しさ…

今大会にむけての練習を通じて、これらの価値のあることを、素晴らしいことを、選手だけに限らず、6年生全員が経験できたことと思います。

是非、この経験を、これからの学校生活に活かしてください。

本大会を迎えるにあたり、お子さんの体調を整え、今朝、元気に会場に送り出してくださった保護者の皆様、お忙しい中、応援に駆けつけていただいた保護者の皆様にも、感謝申し上げます。ありがとうございました。

【市陸上大会での入賞者】

女子ソフトボール投げ 第1位 高野 莉子

おめでとうございます。

地域の皆様のおかげで 秋の交通安全運動

9月30日(土)は、秋の交通安全運動の期間の最終日。この期間中、地域の交通安全推進員の方々にも、朝の交通安全指導をしていただいていた。おかげさまで、通学路にある交差点や横断歩道では、子どもたちが安全に登校することができました。朝早くからのご指導、本当にありがとうございました。

期間中の最終登校日となった9月29日(金)の朝も、元気な挨拶を返してくれる子どもたちがたくさんいて、気持ちよく1日のスタートを切れました。

あいさつの声が元気なところは、鳥川小学校のよさの一つ。いつまでも引継ぎたい伝統です。



陸上大会の選手壮行会&表彰集会



市陸上記録会の6日前である9月28日(木)。昼の時間に、5年生が中心になって企画した、市陸上競技大会の選手壮行会が、体育館で行われました。

校長からの激励の言葉の後、代表選手による出場選手の紹介、5年生応援団からの元気よいエールがありました。



その後、サプライズとして、代表の友だちを送り出す6年生から、「全・力・輝・楽」のスローガンとともに、応援の気持ちの込められた「ミサンガ」が、選手一人一人にプレゼントされました。

ちなみに、このスローガンには、『全力』を出し切り、『楽しく』競技に取り組んで『輝いて』ほしい。』との願いが込められています。



エールの後は、代表児童より、選手団のキャッチフレーズである「限界突破！！」の披露とともに、大会に向けての意気込みが発表されました。

また、陸上大会の壮行会に先立ち、8月から9月にかけて表彰のあった各種コンクール等の賞状伝達を行いました。



【表彰集会での表彰者】おめでとうございます！

○ 第10回 県北産「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクール

ふくしま未来農業協同組合長賞 6年 八巻 ゆみな
入選 6年 齋藤 杏

○ 第69回 青少年読書感想文福島地区コンクール

特選 5年 桑原 寛太
準特選 6年 野地 陽久
準特選 1年 久保田 珠妃

○ 令和5年度福島地区小・中学校理科学研究作品展

金賞 2年 古俣 結唯

